

富山県の小学校トイレ ——小学生に対する意識調査（その1）——

An Exploratory Study of the Student's Attitude toward Toilets in Elementary School

金 岡 トモコ

KANAOKA Tomoko

I. はじめに

時代の潮流は大きく変化し、ことトイレに対しても新しいハードルが設定され見直しが求められている。例えば、環境にやさしいトイレやユニバーサルトイレの開発、観光地や山岳地や事業所などのトイレの改善など。“いつでも、どこでも、だれでも、安心して、快適に”利用できる“環境に配慮した”トイレの推進が求められている昨今である。

平成11年5月設立した環日本海トイレフォーラムは、最初に取り組むテーマとして現在教育の現場で問題視されている「学校のトイレ」を選んだ。そして、現状を把握するため、先生、児童、保護者などを対象とした調査を実施することにした。その経緯と、予備的な調査として実施した養護教員を対象とした意識調査については、第35輯「富山県の小学校トイレ—養護教員に対する意識調査結果から」で報告した。

本報は、養護教員に対する調査結果および現

地調査、懇談会、建築家による出前講義などをふまえ、環日本海トイレフォーラムの有志で議論をかさね実施した「小学生を対象とした意識調査」の結果を報告するものである。

さて、学校のトイレに対する意識はどのように形成されるか。検討の結果、意識構造に影響を及ぼす主な要因として、次の観点からみることにした。

- (1) 男子・女子という性別
- (2) 家でどのような様式のトイレを使っているかという生活経験
- (3) 学校のトイレをどれくらい使ってきたかという社会経験（学年別）
- (4) 地域性と建築年数

これらの観点に着目しつつ設定した項目は、児童の自宅のトイレの様子、学校のトイレに対する評価と排便行為、さらに望ましい学校のトイレなどである。本報では、いささかの知見を加え中間報告をしたい。

かなおか ともこ（生活科学科）

II. 調査概要

(1) 調査題名

「小学生の学校トイレに関する意識調査」

(2) 調査対象

入善町立桃李小学校、富山市立堀川小学校
砺波市立出町小学校

(3) 調査内容

- ・家のトイレの様式、機能など
- ・学校のトイレの行き易さ
- ・学校のトイレでの大便の有無
- ・学校トイレに対する評価
- ・排泄音
- ・望ましいトイレの様式、壁の色
- ・こんなトイレがほしいな（自由記述）

(4) 調査方法

直接配布・直接回収

(5) 調査期間

平成12年4月～6月

III. 調査結果

調査対象とした小学校は、富山県の西部、東部、中央から選んだ。富山市立堀川小学校の現校舎は昭和43年に建築されたものであり、入善町立桃李小学校は平成9年統合し開校した新しい校舎である。砺波市立出町小学校の校舎は現在改築が計画されている。

調査対象者は総数627名である。性別では男子301名、女子326名である。学年別は3・4年生が276名、5・6年生が351名である。

本報では地域性を主な視点として考察した。

1. 自宅のトイレの様子

- (1) 『あなたの家のトイレは洋式ですか和式ですか』と様式について問うたところ、全体として「洋式」が69%、「和式+洋式」12%と合わせると約8割の児童が自宅で洋式を使用していることが示されている。

地域別では、富山市内にある堀川小学校の児童の76%が「洋式」であると応えている。入善町にある桃李小学校の児童の約25%は「和式」と応えており、洋式トイレの普及にやや地域差が認められる。（表1）

- (2) 『ウォッシュレットがついていますか』については、全体として「ない」が55%と過半数を占めている。堀川小学校の児童の49%が自宅のトイレにウォッシュレットがついていると応えている。次いで出町小学校、桃李小学校の順となっている。（表2）

- (3) 『家では、いつ大便をしますか』の設問には、全体として「きまってない」が最も多く、61%である。次いで「朝学校に行く前」21%、「学校から帰ってから」16%となっている。決まった時間に排便するという生活リズムが身についていないことが、児童の学校における排便の対応にもさまざまな問題を起こしていることがうかがい知れる。（表3）

2. 学校のトイレについて

- (1) 『あなたは学校のトイレは行きやすいですか』の設問について、全体として「どちらでもない」が62%と高い割合を示している。「行きにくい」が17%と2割弱である。地域別では、桃李小学校が「行きにくい」が9%と1割未満である。新築であることを反映していると考えられる。（表4）

さらに、男女別・自宅トイレの様式別・学年別というカテゴリでクロスしてみると、男子児童の方に、要因による意識への影響があることが認められた。（図1）

- (2) 『あなたは学校で大便をしますか』の設問に、全体として「がまんできない時だけする」が57%と最も多い。「ぜったいしない」が16%あり、「する」は22%である。建築年別の大きな差異は認められない。（表5）

表1 家のトイレの様式

(%)

	洋 式	洋式+和式	和 式	そ の 他
桃 李 小 学 校	6 2. 7	1 1. 4	2 5. 4	0. 5
堀 川 小 学 校	7 6. 0	1 1. 0	1 3. 0	
出 町 小 学 校	6 6. 5	1 3. 3	1 9. 7	0. 5
計	6 9. 2	1 1. 8	1 8. 7	0. 3

表2 ウォッシュレットの有無

(%)

	あ る	な い	そ の 他
桃 李 小 学 校	3 9. 1	6 0. 9	0. 5
堀 川 小 学 校	4 8. 8	5 1. 2	0. 8
出 町 小 学 校	4 6. 8	5 3. 2	
計	4 5. 4	5 4. 6	0. 5

表3 家では何時排便するか

(%)

	朝学校に行く前	学校から帰ってから	夜寝るまえ	きまっていない
桃 李 小 学 校	1 3. 4	1 2. 7	3. 5	7 0. 4
堀 川 小 学 校	2 6. 1	1 3. 6	3. 4	5 6. 8
出 町 小 学 校	2 5. 7	2 4. 3	2. 7	4 7. 3
計	2 0. 1	1 5. 8	3. 3	6 0. 9

表4 学校のトイレの行きやすさ

(%)

	行きやすい	どちらでもない	行きにくい	NA
桃 李 小 学 校	2 9. 7	6 1. 1	9. 2	
堀 川 小 学 校	1 9. 3	6 1. 8	1 8. 9	
出 町 小 学 校	1 4. 4	6 2. 2	2 1. 3	2. 1
計	2 0. 9	6 1. 7	1 6. 7	0. 6

表5 学校で大便をするか

(%)

	ぜったいしない	我慢できない時だけする	したくなったらする	そ の 他
桃 李 小 学 校	1 5. 7	6 2. 2	1 3. 5	8. 6
堀 川 小 学 校	1 5. 7	5 8. 7	2 4. 0	1. 8
出 町 小 学 校	1 6. 0	5 0. 5	2 7. 7	5. 9
計	1 5. 8	5 7. 3	2 2. 0	4. 9

また男女別自宅のトイレの様式別学年別でみると、「する」の割合が3・4年の低学年の方が多いたことが示されている。「ぜったいしない」の割合は、女子児童に比べ男子児童が高く、とくに5・6年の高学年にその意識の強いことが認められる。(図2)

児童が便意を催したとき、どんな行動をとるか追求しておく必要があることを示している。

さらに、「がまんできない時だけする」「ぜっ

たいしない」と応えた児童に、『なぜ学校で大便をしないのですか』と問うたところ、「トイレがきたない・くさい・くらいから」が34%と最も多い。新築された桃李小学校は、他2校の40%前後に比べ18%と低いことが認められる。次いで、「人に見られるとはずかしい」20%、「家のトイレと形式がちがう」16%、「友達に冷やかされる」13%である。筆者たちが特に注目していた「友達にいじめられる」は0.4%と大変低いことが示されて

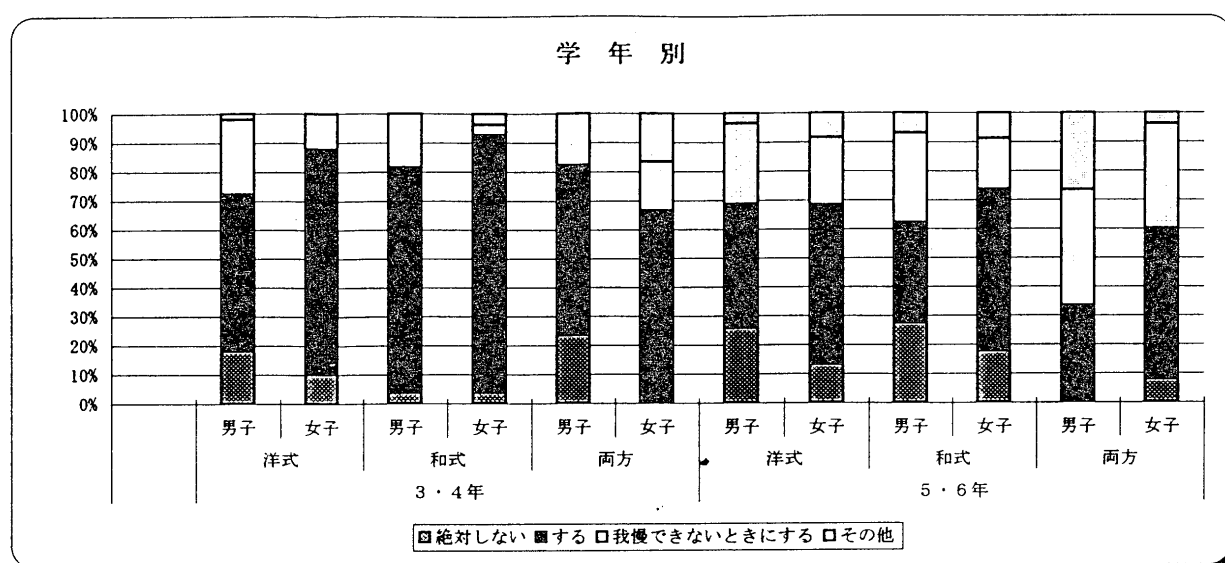


図1 男女別・性別・学年別学校トイレの行きやすさ

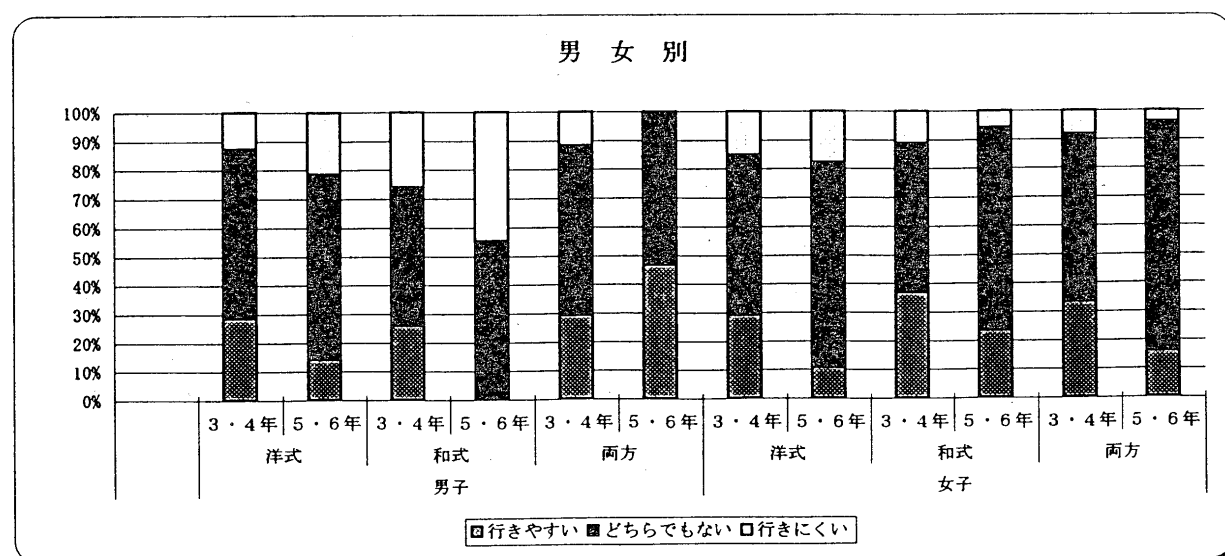


図2 学年別・性別大便をするか

いる。桃李小学校児童は「家のトイレと形式がちがう」が5%と目立って低く、逆に「人に見られるとはずかしい」とする児童が37%と、他の2校に比べ2倍の割合を示している。

(表6)

- (3) 『あなたは学校のトイレについてどう思いますか』については、全体として「ふつう」が51%と半分を占めているが、「きたない・くさい・くらい」という意識が42%あり、児

童の厳しい目があることがうかがわれる。一方「せいけつ」は4%にすぎない。出町小学校の「きたない・くさい・くらい」が66%と大変高い割合を示している。また、桃李小学校児童は他校に比べ「清潔」「普通」が目立って多いことが示されている。(表7)

さらに、性別・自宅の様式別・学年別でみると、「きたない・くさい・くらい」(3K)の意識が、高学年ほど強く、自宅のトイレが

表6 大便をしない理由

(%)

	人に見られるとはずかしい	友達に冷やかされる	友達にいじめられる	家のトイレと形式がちがう	きたない・くさい・くらい	その他
桃李小学校	36.7	11.7		5.0	18.3	28.3
堀川小学校	13.2	13.2		22.8	39.5	11.4
出町小学校	18.3	14.7	0.9	14.7	36.7	14.7
計	20.1	13.4	0.3	15.9	33.9	16.3

表7 学校のトイレに対する評価

(%)

	せいけつ	ふつう	きたない・くさい・暗い	NA
桃李小学校	11.8	65.6	21.0	1.6
堀川小学校	2.0	50.2	43.5	4.3
出町小学校	0.5	36.5	61.4	1.9
計	4.4	50.6	42.4	2.7

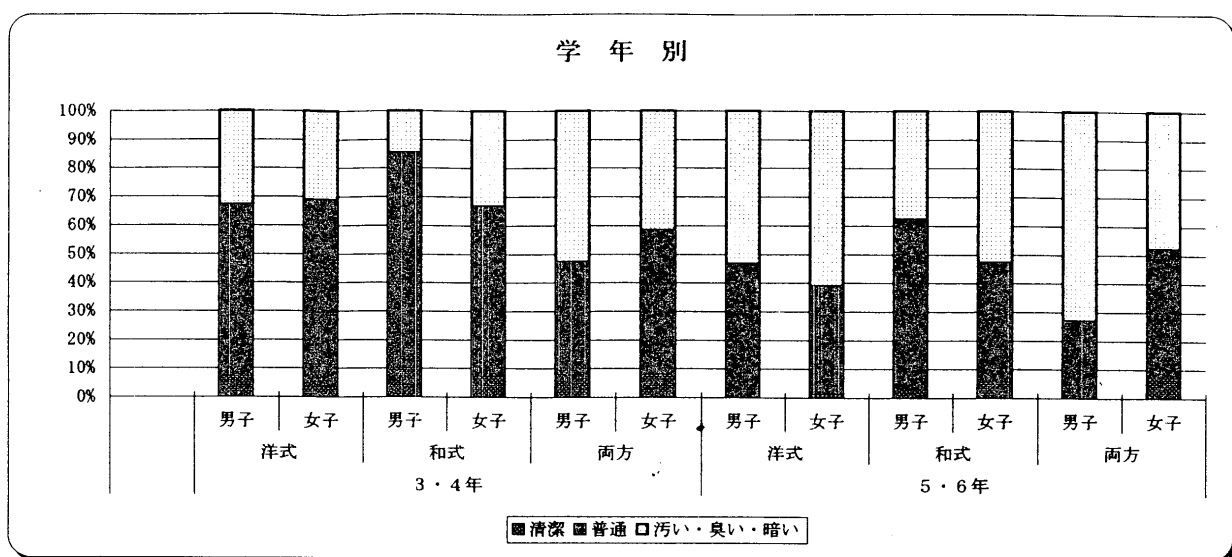


図3 学年別・様式別・性別学校のトイレの評価

「洋式」である児童の方が3K意識の割合が高いことが認められる。(図3)

- (4) 『小便や大便をする音が気になりますか』は、全体として「気にならない」が63%と過半数を越えており、「気になる」が34%である。しかし、先の筆者の中学生を対象とした意識調査では、性別によって意識の違いがあることが認められたことから、小学生児童にも、性別と学年別による差異があるか追求したいと考えている。(表8)

3. 望ましい学校のトイレについて

- (1) 『学校で大便をするとき、和式・洋式のどちらを使いたいですか』の問いには、「洋式」が49%と最も高く。次いで「どちらでもよい」が28%、「和式」が21%である。地域差では、

堀川小学校が「洋式」を望むものが53%とやや多いことが認められる。(表9)

さらに学年別・様式別・性別でみると、高学年の女子は自宅の様式と関係なく「和式」を望むことが明示されている。

さらに、和式を望んだ児童に『なぜ洋式を使いたくないのですか』と理由をきいたところ、「洋式は直接はだにふれる」が最も多く69%である。次いで「洋式はおしりにつめたい」16%である。(表10)

逆に、洋式を望んだ児童は『なぜ和式を使いたくないのですか』の設問に、「和式はしゃがむのがつかれる」をあげたものが最も多く58%である。次いで「和式は周りがよごれている」が29%である。「和式を使ったことがない」が5%いることを注目したい。(表11)

表8 自分の排泄音が気になるか

(%)

	気になる	気にならない	NA
桃李小学校	27.4	71.0	1.6
堀川小学校	33.3	62.0	4.7
出町小学校	41.8	56.6	1.9
計	34.1	63.0	2.9

表9 望ましい学校トイレの様式

(%)

	和式	洋式	どちらでも	NA
桃李小学校	20.4	47.3	30.1	2.2
堀川小学校	16.1	52.5	27.5	3.9
出町小学校	26.5	46.0	25.4	2.1
計	20.5	49.0	27.6	2.9

表10 洋式を使いたくない理由

(%)

	直接はだにふれるから	おしりがつめたいから	使ったことがない	その他
桃李小学校	47.4	26.3	5.3	21.1
堀川小学校	77.5	2.5		20.0
出町小学校	77.6	18.4		4.1
計	68.5	15.7	1.6	14.2

表11 和式を使いたくない理由

(%)

	しゃがむのでつかれる	周りがよごれている	使ったことがない	そ の 他
桃 李 小 学 校	6 7 . 4	2 0 . 2	5 . 6	6 . 7
堀 川 小 学 校	5 3 . 0	2 8 . 0	4 . 5	1 4 . 4
出 町 小 学 校	5 4 . 0	4 0 . 2	3 . 4	2 . 3
計	5 7 . 5	2 9 . 2	4 . 5	8 . 8

その他、『トイレの壁の色』について、また『こんなトイレがほしいな』『あなたの家のトイレ、トイレをしているときのこと』について自由に表現してもらったが、本報では省くことにする。

IV. おわりに

以上、調査について単純集計による結果を中心に報告した。小学生の学校のトイレに対する意識、評価、希望など参考にすべき結果を得ることができた。今後、対象者を生活経験、社会経験、性別などによるカテゴリーに分類し、クロス集計し分析をすすめたい。また、保護者に対して家庭の実態調査、保育園の先生に対して意識調査を実施している。さらに、懇談会や出前講義などによる直接的な児童の反応や意見なども参考にし総合的な考察をし、まとめたいと考えている。

最後に、この調査は、計画、予備調査、設問内容の検討、調査の実施、結果の集計のすべてのプロセスに、環日本海トイレフォーラムの有志が関わっていることを付記し、深謝申し上げます。

なお、これまでに実施した調査を報告書として公表したいと考えている。報告書作成に対し、富山第一銀行の助成金が授与されている。

<参考資料>

- (1) 金岡トモコ「学校のトイレに関する中学生の意識」学校トイレセミナー報告書 日本トイレ協会 1999
- (2) 金岡トモコ「富山市立堀川小学校を事例として」学校トイレフォーラム I Nよこすか資料集 日本トイレ協会 2000
- (3) 金岡トモコ「富山県の小学校トイレ—養護教員に対する意識調査結果から」富山女子短期大学第三十五輯 2000
- (4) 長倉康彦「学校建築の変革」彰国社
- (5) 富山県「富山県快適トイレ推進プラン」1999